



ニュースリリース 平成 24年2月13日

## 当行行員の「農業経営アドバイザー」資格取得について

常陽銀行(頭取 寺門 一義)では、このたび、行員4名が、「第14回 農業経営アドバイザー」試験(日本政策金融公庫主催)に合格し、同資格を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、アグリビジネス分野を成長分野と位置付け、平成16年2月に全国の地方銀行に先駆けて本部内にアグリビジネス専担者を配置しました。これまでに、農業者向け貸出商品の開発や、「食の商談会」、「地方銀行フードセレクション」等のビジネスマッチングイベントの開催、さらに、「農商工等連携」や「6次産業化」に向けた取り組み支援など、農業者・食関連事業者に対する各種施策<sup>\*</sup>を積極的に展開しております。

今後も、『常陽地域復興プロジェクト「絆」』に取り組むとともに、農業経営者からの経営相談に積極的にお応えし、地域経済の発展に寄与してまいります。

※詳細につきましては、別紙をご参照願います。

### 記

#### 1. 「第14回 農業経営アドバイザー」資格取得者

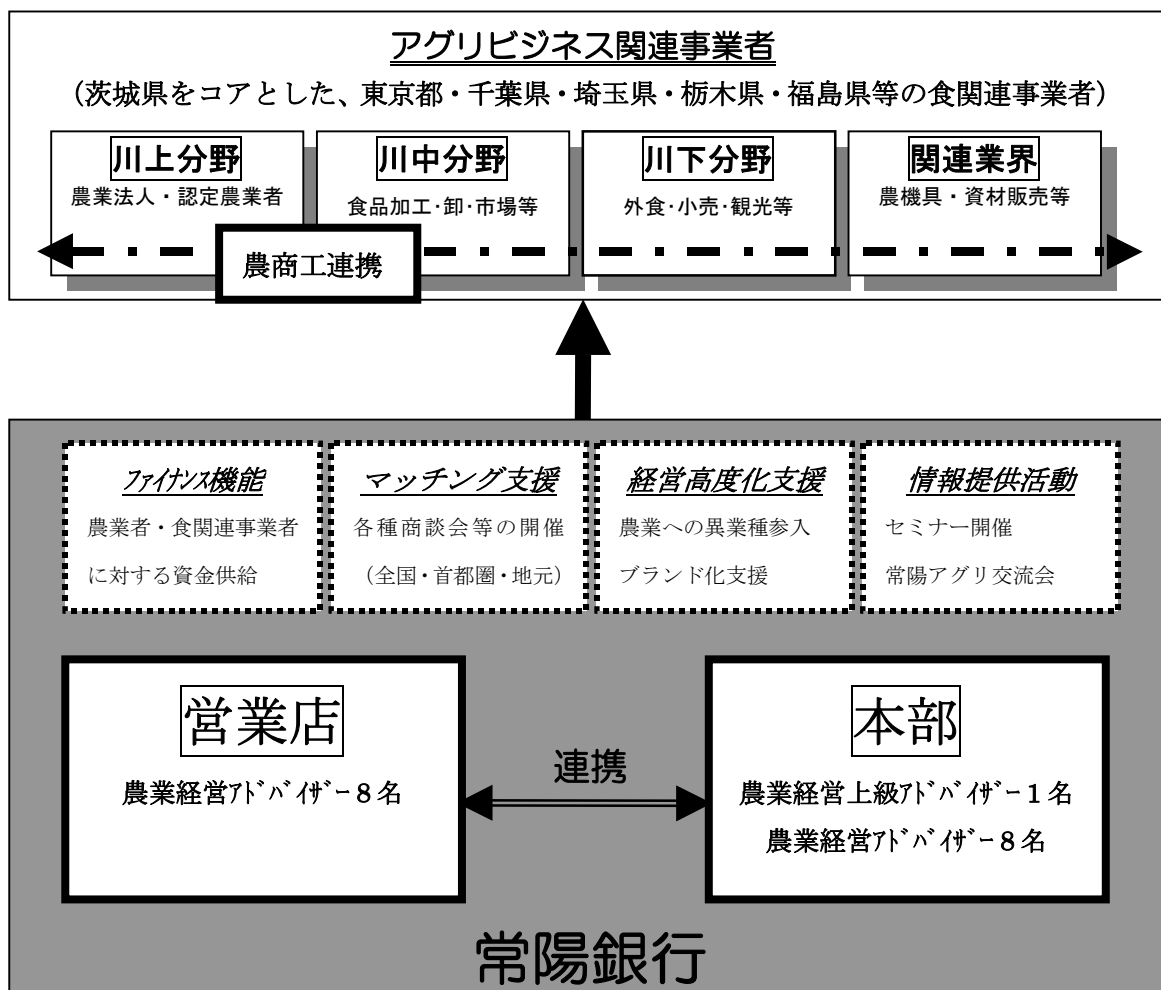
行員4名(本部分行員1名、営業店行員3名)

\*現在、「農業経営(上級)アドバイザー」資格保有者は、上記合格者を含め合計17名。

(本部分行員9名、営業店行員8名)

以上

当行のアグリビジネス分野向け支援体制（スキーム図）



【ご参考】

○ 農業経営アドバイザー

農業経営発展のアドバイスに必要な各種知識、ノウハウを有するものを育成し、農業の担い手育成に寄与することを目的に、(株)日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫）が平成17年に創設した民間資格。

○ 農業経営上級アドバイザー

農業経営アドバイザーの上級資格として、農業経営に対する十分なアドバイス経験を有し、難易度の高い経営課題に対して実践的なアドバイスを行うとともに、農業経営アドバイザーに対して指導、助言を行う能力を有する者の確保を目的として創設。「農業経営アドバイザー」としての実務経験を3年以上有する者に受験資格が与えられる。